

TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

第7戦 オートポリス

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆10月17日（土） QUALIFY

公式予選結果 6位

9月19日（土）～20日（日）に行われた第6戦では、レースペースに苦しむ展開のなかで1ポイントをもぎ取ったTGR TEAM KeePer CERUMOは、約1ヶ月弱のインターバルで第7戦オートポリスに臨んだ。大分県日田市のオートポリスは非常にタイヤに厳しいコースであ



り、かつ3時間という長いレース距離で争われる一戦だが、今シーズンはさらに第3戦が11月に行われることになり、シーズンでも最も重いサクセスウエイで争われる。そんな一戦に向け、チームはタイヤ選択を含めた綿密な準備を経て、10月17日（土）から始まった公式練習に臨んだ。

この日のオートポリスは朝から快晴に恵まれ、午前10時30分から行われた公式練習は、気温21度／路面温度23度というコンディションで始まった。KeePer CERUMO GR Supraはまずは大湯都史樹がステアリングを握りコースインし、セットアップを確認していった。開始から12分後にはGT300車両のストップにより一度赤旗が出たが、再開後、大湯もAstemoコーナーでハーフスピンを喫するも、ダメージなくコースに戻っている。

大湯は12周を走り、ピットに戻るとGT500で初めてオートポリスを走る小林利徠斗に交代する。小林も「決勝レースを見据えたことをいろいろやってきました」と17周を走り、フルコースイエローのテスト、さらにGT300クラスの専有走行を経てアタックシミュレーションに入っていたが、ここで#16



TGR TEAM KeePer CERUMO

HRC Prelude-GT が第 2 ヘアピンでクラッシュ。赤旗が提示され、アタックを行えないままセッションを終えることになった。



アタックシミュレーションが行えなかったのは全車ともに同じだが、結果的に公式練習の KeePer CERUMO GR Supra の順位は 2 番手となった。公式練習後、大湯はセットアップについては「最後のランで及第点のところに到達することができました」と振り返りつつ、このオートポリスでのタイヤ選択の難しさを語った。

「決勝レースは曇りの天気予報も出ていますが、その天候だと想定していたタイヤがうまく機能しないような印象です。ポールポジションや優勝のために攻めたセットアップをしたいのですが、決勝レースを考えるとできなかったところもありました」と大湯。

そんなコンディションも踏まえながら、公式練習の後 TGR TEAM KeePer CERUMO はセットアップを煮詰め、午後 2 時 30 分から始まった公式予選に臨んだ。この時期にしては暖かい気温 23 度／路面温度 29 度というコンディションで晴天のもと始まった予選だが、KeePer CERUMO GR Supra の Q1 のアタッカーは今回も小林が務めた。

しっかりと Q2 進出を果たすことを求められるなか、毎戦その期待に応えている小林は、チェッカーに向けて続々とタイムが記録されていくなか、1 分 33 秒 253 を記録し 3 番手につけ、きっちりと Q2 の大湯に繋いでみせた。



公式練習の後には「利徠斗が Q1 を突破できれば、上位につけられると思います」と語っていた大湯は、午後 3 時 41 分から始まった Q2 に出走すると、ウ



TGR TEAM KeePer CERUMO

オーサムアップをていねいにこなしアタックラップに入った。



ここで大湯は渾身のアタックを行い、1分33秒121を記録するも、ライバルたちのQ2のタイムの伸び幅が大きく、6番手という結果となった。とはいえ、GR Supraとブリヂストンの組み合わせでは最上位。決勝も上位を狙える位置につけた。TGR TEAM KeePer CERUMOは10月18日（日）の決勝に向け、全力を尽くしていく。

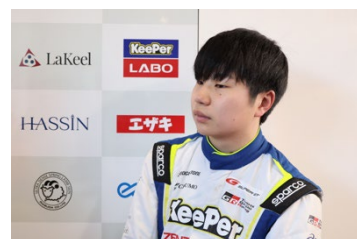
ドライバー／大湯都史樹

「オートポリスはドライバーズサーキットと言われていましたが、最近のトレンドとしては、いかにタイヤのピークを長く出し切るかがポイントになってきています。頑張りすぎるとタイヤへの負荷も強くなってしまいますし、バランスにも影響してしまいます。その中で、予選Q1を担当した小林選手の走りをヒントにしつつQ2に臨みましたが、うまくまとめられたものの、ライバルたちのタイムの伸びが大きかったですね。コンディションもあったとは思いますが、自分としてはオートポリスらしい攻め方に合わせた良いアタックができたと思うので、6番手はちょっと残念ですね。とはいえ、公式練習から安定して決勝を走れるようなクルマに仕上げてきているつもりですし、その手ごたえが予選の中でもあったので、明日も頑張りたいです。やっていることも間違っていないと思っています」



ドライバー／小林利徠斗

「Q1では3番手タイムを記録することができましたが、予選ではクルマのポテンシャルも高かったですし、それを引き出す走り方はできたのではないかと考えています。ただこのオートポリスは決勝レースがすごく大事ですし、ライバルも強いと思うので、明日は明日で気を引き締めていかなければと思っています。レースに向けて、僕の中でははっきりしたものは見つかってはいないのですが、大湯選手とエンジニアの中で良いものが



TGR TEAM KeePer CERUMO

見つかっていればいいな、と思っています」

立川祐路監督

「6番手から決勝レースを戦うことになりましたが、望んでいたグリッドではないものの、オートポリスは何より決勝レースが大事になりますからね。シーズンの中でも最も決勝が大事なコースであり、予選順位が関係なくなってしまうことも多いです。今回、決勝重視でタイヤ選択も含めて考えているので、その中では良い予選順位につけることができたのではないかと思います。前戦のSUGOでは決勝ペースがかなり苦しかったので、そうならないようにしたいですし、3時間レースで何より重要なのは安定したペースです。明日はそれを目指して上位入賞、そして優勝を狙っていきたいと思います。明日もぜひ応援よろしくお願いします」



KeePer
FOR SMART CAR LIFE

GR Toyota
Gazoo
Racing

BRIDGESTONE

ZENT

RMU
RACING PADS

ELK HOMES

トヨタカローラモータース

山田ヨペット

Felix88

SANKISHOKAI

VERTEX PARTNERS

asics

LaKeel

HYPER WATER

EW

HASSIN

エサキ

SONAX



ENKEI

TOYOTA TOKYO
トヨタ東京自動車大学校

WELUKAN

Mechanics world

EXCEL

TGR TEAM KeePer CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q2	Q1
1	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1'32.414	1'32.550
2	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	1'32.799	1'33.441
3	19	WedsSport BANDO GR Supra	1'32.885	1'33.297
4	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1'32.949	1'32.957
5	12	TRS IMPUL with SDG Z	1'33.072	1'33.287
6	38	KeePer CERUMO GR Supra	1'33.121	1'33.253
7	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'33.124	1'33.458
8	36	au TOM'S GR Supra	1'33.268	1'33.454
9	23	MOTUL Niterra Z	1'33.270	1'33.577
10	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1'33.877	1'33.394
11	24	REALIZE CORPORATION Z		1'33.580
12	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT		1'33.585
13	14	ENEOS X PRIME GR Supra		1'33.695
14	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra		1'34.315

